

城南学校運営支援室便り

平成26年4月号



中心校：北川副小学校

連携校：赤松小・城南中・諸富北小・諸富南小・諸富中

城南支援室ブログ <http://sagajyounan.blog.fc2.com/>

文責 北川副小学校 事務長：七田



◇ 城南学校運営支援室について

「事務の共同実施」は、佐賀県で一斉に取り組みが始まり今年で7年目を迎えます。

佐賀市では10の支援室に分かれて毎月2回程度の会議を開き、佐賀市の重点目標と支援室毎の取組目標に則って実践しています。(下記参照)

城南支援室は、地域学校運営協議会が定着している城南中学校区と、小中連携を推進している諸富中学校区で構成されていますが、今年度から新規でコミュニティ・スクール事業(文部科学省)での事務職員が北川副小に配置されました。

下記の目標と併せて加配を受けた事務職員を如何に有効活用し、コミュニティ・スクールの推進に寄与していけるかを実践・研究していかなければなりません。

新年度を迎えた、各学校の事務室では、「学校徴収金管理システム」が無事にスタートできるように、遅くまで残って進級処理や基礎的なデータ入力等に追われる日々が続いています。他にも、学校や先生方を通じた児童生徒への支援の在り方について、協議しながら実践していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

佐賀市の重点目標

- ◎支援室内のOJTをととして室員の資質向上と意識改革を図る
- ◎事務処理の効率化・迅速化・正確化・組織化の推進
- ◎学校運営への積極的参画と学校マネジメント支援の推進



城南具体的な取組

- ① コミュニティ・スクール加配を受けた事務職員の在り方の実践・研究
- ② 新給与管理システムの定着と学校運営支援室のデータ・ベースの活用推進
- ③ 学校徴収金管理システムの適正な運用の推進(校内における学校徴収金会計事務の連携強化)
- ④ 文書事務の適正化促進(起案決裁と公印使用簿)
- ⑤ 危機管理対応をふまえた学校安全管理の推進
- ⑥ ICT教育推進の支援のための室員研修の企画・実施

◇ 城南支援室の役割分担(よろしくお願ひします)

氏名	学校・職名	役割分担
古川 治	城南中 統括事務長	佐城地域内学校運営支援室の統括
七田 英幸	北川副小 事務長	支援室総括・諸手当認定・CS事業
豊住 孝志	城南中 事務主幹	副室長・会議司会・学校徴収金
吉原 正勝	諸富中 事務主幹	扶養手当主担当・住居手当担当
御厨 章広	赤松小 主査	ICT利活用推進・扶養手当担当
池田 健二	諸富南小 主査	住居手当主担当・データベース活用
片渕 美里	北川副小 副主査	通勤手当主担当・会議録・CS事業
藤井 亜衣	諸富北小 主事	データベース活用・通勤手当担当
真玉 由美	北川副小 主事	学校徴収金・会議開催文書

◇ 異動がありました(お世話になりました)

転出者 北川副小:御厨(川副中へ) 城南中:宮地(昭栄中へ)
赤松小:森(鳥栖小へ) 諸富中:千崎(成章中へ)



◇ 給与カット条例について

平成25年7月より施行されていましたが、給与(本棒)・管理職手当の減額は、施行期間が平成26年3月31日まででしたので、終了しました。
4月21日支給の4月分給与にてご確認下さい。

◇ 佐賀市の予算が配当されました(主な事業)

- ・校舎改築工事(北川副小)耐震対策改修工事(赤松小)
- ・屋内運動場天井改修(耐震)工事(城南中)
- ・木製机・椅子整備事業(北川副小)小4~6「佐賀市トライアル認定品」

※配当予算の詳細については事務室におたずね下さい。

◎佐賀市予算の特徴

①「学校予算のフレーム化」

学校の管理運営及び教材整備に係る予算は、事前に設定されたフレーム(枠)の総額のなかで、学校独自の判断を取り入れた予算編成方式です。学校の実情や教育計画に応じた予算編成や長期的な視点に立った教育環境整備が可能となっています。

②「市長マニフェスト」の実現

市長マニフェスト実現のために、教材費の追加配当が行われており、教材消耗品費・備品費は平成20年度の予算水準が維持されています。



学校のマネジメント力、強化のための「共同実施」